

リレーメッセージ第5回

吉添理恵子氏（北高 42 期/平成 3 年卒）

第4回の羽田昭彦氏（北高 27 期/昭和 51 年卒）からのご紹介です。

この度リレーメッセージのご指名を受けました、吉添理恵子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

約 30 年前の松江北高生時代は、合唱部の練習に励む毎日でした。また、休み時間や放課後に図書室で本を借りまくったり、司書の先生や友達と、小説や漫画の話に花を咲かせていたのもよい思い出です。



そこで培われた本への愛が止まらず（？）出版社に入社。20 年近く女性漫画誌に関わった後、現在は児童書編集部で『ちびまる子ちゃんの整理整とん』『マナーとルール』『時間の使いかた』などを担当しています。（子どもの生活に役立つ内容を漫画で楽しく紹介していますので、お子さんやお孫さんにオススメです♪←宣伝）

そんな中、初めて担当した図鑑『博学王 13 1/2 のビックリ大図鑑』が今秋発売されました。世界トップクラスの図鑑出版社 DK 社から世界 15 か国で刊行され大人気のエンタメ図鑑で、大迫力のビジュアルと、知的好奇心を刺激する 80 テーマ、「いつも食べているバナナはクローン!?’ など 1 テーマにつき 13 項目プラスアルファのビックリ知識がギッシリつまっているのが特長です。（←また宣伝）

そしてこの度、日本の「博学王」といえばこの方！ 林修先生が、この図鑑を推薦してくださいました。インタビューさせていただいたのですが、その際に林先生から、こんな興味深いお話をおうかがいすることができました。

「この図鑑はビジュアルもテーマも解説もまとまりすぎていないからこそ、子どもは読むとさらに調べたくなるだろうし、自分なりにまとめたくなるでしょうね。大事なのは、そうやって自分なりに好奇心を持って、整理して咀嚼した知こそが、真に自分のものになるということ。そして、長く財産として残るということなんです。」

林先生も小学生の頃、大河ドラマから「源氏」にハマって、図鑑や百科事典、歴史本などを片っぱしから読んで、清和天皇からの家系図を作り続けたとのこと。調べたことをどう自分なりに整理するか、試行錯誤を繰り返すうちに、歴史が得意になっていたそうです。

そういえば私も、中・高時代に小説や漫画にハマったときは、何度も読み返したり朗読したり、それに飽き足らず関連図を作ったり、果ては登場人物に宛てて日記を書いたりしていたっけ…（私のは完全に黒歴史ですが）。でもそれが現在の編集者という仕事につながっているのですから、案外ムダで

はなかったのかもしれませんが。

松江北高は、勉学はもちろんですが、部活や文化祭（懐かしのページェント！）をはじめ、自分が興味を持ったこと、好きなことに邁進できる、よい学校だったなあと、今になって思います。東京在住のため息子たちを松江北高に通わせることはできず残念ですが、彼らにもそんな実りのある高校生活を送ってほしいなあとと思っています。

そうそう、林先生は、こうもおっしゃっていました。

「子どもが興味を持つには、何かしら外部からの情報が必要です。どこに反応するかわからないから、親はたくさんの情報を与え続けることが大切。「知の入口」となる『博学王』の中から、僕の「源氏」のように、自分だけの“好き”を見つけてもらえたらと願っています。」

これからのクリスマスシーズン、お子さんお孫さんへのプレゼントにぜひ、『博学王 13 1/2 のビックリ大図鑑』をご検討ください♪（←最後まで宣伝にて失礼いたしました！）

[『博学王 13 1/2 のビックリ大図鑑』特設サイト](#)

2019 年 11 月 28 日掲載